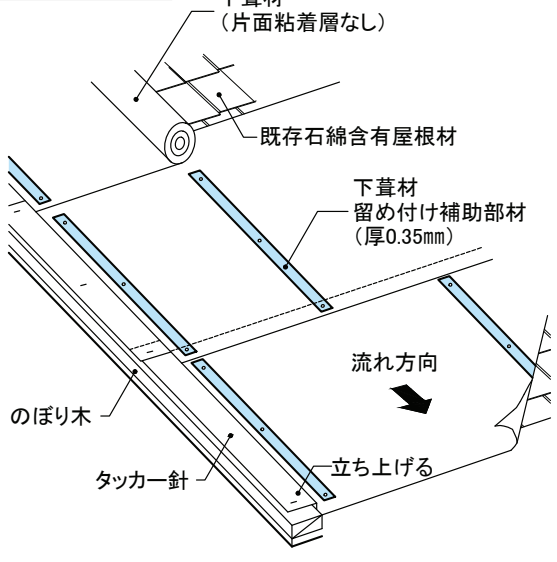
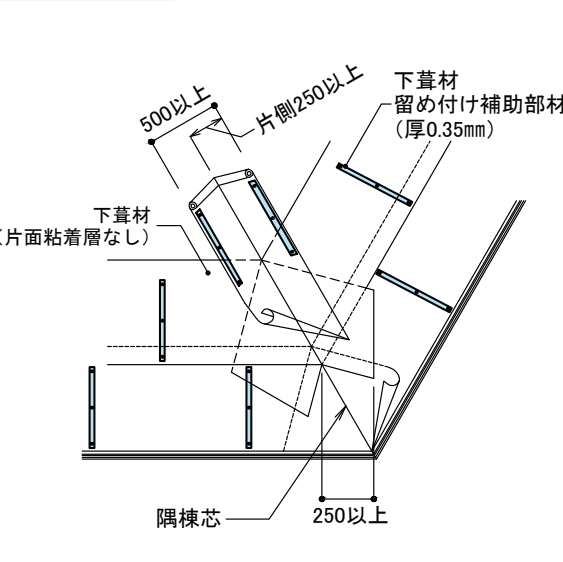
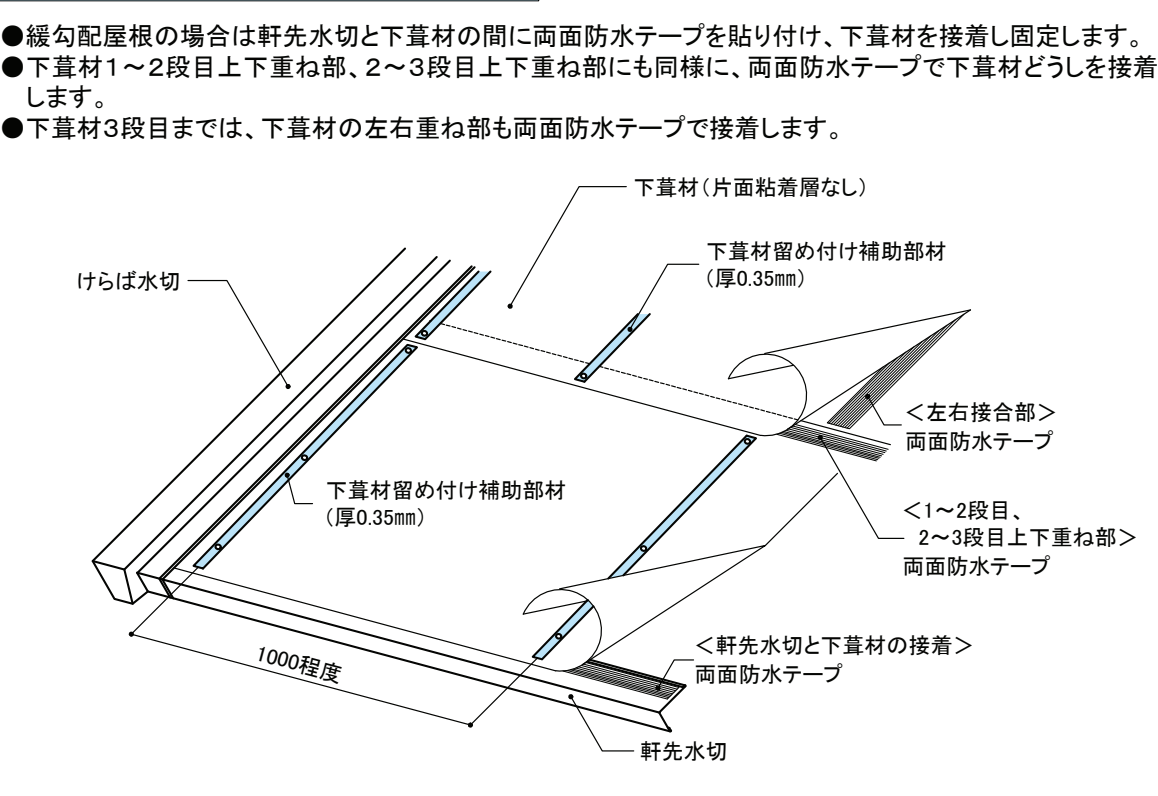


9 アルマの重ね葺き工法

9-6 下葺材の施工

ニチハ『あんしん』屋根カバー工法（一般）
（既存屋根が石綿を含む場合）

2)ニチハ『あんしん』屋根カバー工法（一般）

| けらば部 | 隅棟部 |
|--|--|
|  <p>●けらば端部は、全段の下葺材を下葺材留め付け補助部材で固定します。</p> <p>●のぼり木に対してはタッカー針で固定します。</p> |  <p>●隅棟部に重ねる下葺材端部に、隅棟芯に沿って、下葺材留め付け補助部材で固定します。</p> |
| <p>緩勾配仕様(2.5寸以上3.5寸未満)</p> | |
| <p>●緩勾配屋根の場合は軒先水切と下葺材の間に両面防水テープを貼り付け、下葺材を接着し固定します。</p> <p>●下葺材1～2段目上下重ね部、2～3段目上下重ね部にも同様に、両面防水テープで下葺材どうしを接着します。</p> <p>●下葺材3段目までは、下葺材の左右重ね部も両面防水テープで接着します。</p>  | |

※既存屋根材が石綿含有建材の場合、建築物の解体工事における各種法令を遵守し、適切に対応してください。

※下葺材の施工は、住宅会社様・工事店様にて保険機構等の仕様をご確認頂き、雨漏れしないよう確実に行ってください。参考として保険機構等の代表例を上記に記載します。